

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このき港校Ⅱ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日	～	令和7年2月15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様の活動等のスペースが十分に確保されているため、一人ひとりの気持ちや状態、様子に合わせた場所をつくることができます。	ご利用者様の特性やその時の成長発達、また活動内容によって一人ひとりの力を伸ばしていけるように療育の場所を使い分けて過ごしています。運動活動を取り組んでいく際には、身体を伸び伸ばしと動かすことができる環境の中で、運動器具や道具を使い楽しみながら身体を動かしていき、筋力の発達・保持などの基本的動作の向上を促していけるように様々な運動活動を提供していき支援を行っています。	今後ご利用者様の特性や成長発達に合わせて集団で過ごす時間・個々で過ごしたい時間など落ち着くことができる空間・場所をつくっていき、安心して過ごすことができるよう支援していきます。また療育中のご利用者様の様子や反応を職員間で情報共有していくこと、研修などによる職員の専門性の向上・学びから、療育室の広さを活かした療育内容をより充実できるように工夫していきます。
2	ご利用者様について保護者様と連携をとり、健康や発達の状況についての共通理解をもとに療育を行っています。	食事に関する成長発達やアレルギーの把握・配慮を行い、安全に食育を育むことができるように、おやつやランチ作りなどの活動内容を工夫しています。またご利用者様の成長発達・力に合わせた学習プリントを活用して取り組んでいき、書字・読み書き能力の向上のための支援を行っています。	アレルギー除去の対応のある飲食店や食品を取り扱う店が増えています。安全に配慮した上で、お買いものや外食体験をより増やしていけるよう活動内容に取り入れていきたいと思えます。一人ひとりの力に合わせて応用・復習となる学習プリントを活用していき、自分で考えて分かることの喜びに繋げていけるように工夫していきます。
3	事業所の活動内容・活動プログラムが固定化されないように、ご利用者様の様子や成長発達に合わせて工夫しています。	職員間で日々の療育の振り返りや意見交換等を行い、毎月ご利用者様の様子や成長発達に合わせて活動内容を検討しています。誕生日会では、誕生児の好きなことやものに合わせ、おやつ作り・工作・お出かけなど職員間で活動内容を立案し、一人ひとりへのお祝いの気持ちの伝え方・過ごし方を工夫しています。	ご利用者様の成長にともない、お買いものや施設での見学など外出先での取り組み内容の幅が広がってきています。ご利用者様・保護者様のお声をもとに、より様々な経験を通して一人ひとりの興味・関心の芽生えや力を伸ばしていけるように取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流、また放課後児童クラブや児童館など地域での他の子どもたちとの交流する活動や機会に対する認識が薄いこと。	昨年、保護者様同士の交流の機会として「おやこのきの会」を開催いたしました。開催以降にご利用いただいているご利用者様も多いこと、また保護者様同士や他の地域・機関との交流する活動や機会が少ないため、保護者様への認識の薄さにも繋がっていると考えます。	今後ご利用者様・保護者様のお声をもとに「おやこのきの会(父母の会、保護者会など)」の開催を検討していきます。また地域との交流する機会を増やしていけるようイベントの開催を検討していき、繋がりや関わりをより深く広げていくことができるようにしていきたいと思えます。
2	ご家族様も参加できる研修会や情報提供等の機会が少ないこと。	昨年度では、ご家族様も参加できる研修会等の開催や交流できる機会が少なくできていません。	療育に関わる情報提供及び共有として、情報の記載されているポスターや書類を手にとっていただき閲覧していただけるよう事業所の玄関前に掲示しています。引き続き、掲示による提供方法を活用していき情報をお伝えいたします。またご利用者様・保護者様のお声をもとに希望のある場合、研修会や交流会等の開催も検討していきます。
3	通信やホームページ・SNS等での活動概要や療育の様子・行事予定などの情報を発信していることに対する認識が薄いこと。	事業所では、毎月療育の様子を活動予定表の小見出し部分に記載・ブログ記事を作成してホームページにて更新など、療育の様子や情報をお伝えしています。更新されていることや、更新内容・更新されたタイミング、過去の事業所の自己評価についてのご確認方法や伝達が行き届いていないため、認識の薄さにも繋がっていると考えます。	引き続き、個人情報に留意していきながら通信やホームページを活用していき情報をお伝えいたします。その際に先月の更新しているブログ記事についてお知らせしていき、情報共有をより円滑にしていけるように工夫いたします。自己評価について発信していることもお伝えしていき、ご確認方法等ご不明点がないか改めてお聞きし説明させていただきます。